

11 アメリカヒドリ

(カモ目)

兵庫県ランク: C

Mareca americana

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

アラスカ、カナダ、アメリカ合衆国北部などで繁殖する。繁殖後は北アメリカ中部から中部アメリカ、西インド諸島などで越冬する。日本には、秋にヒドリガモの群れに混じって少数が渡来し、主に本州から九州で越冬する。湖沼や河川、海岸に生息する。穀類や草の葉茎・実、水草類、藻類、昆虫類、小動物などを採食する。近年、ヒドリガモとの交雑個体と考えられる個体が観察されるようになっている。

国内分布

北海道、本州、佐渡、舩倉島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、小笠原群島、琉球諸島



写真提供：森田俊司 (性別：オス(手前))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、芦屋市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、★高砂市、★川西市、三田市、加西市、★丹波篠山市、★養父市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
○									

県内における生息状況およびその他特記事項

要注目ランクからCランクに変更。
県内では主に10-翌4月に少数が生息する。ヒドリガモの集団に混じっていることが多く、その分布はヒドリガモと同じだが、淡路地域での生息確認情報はない。近年、ヒドリガモとの交雑個体と見られる個体が増え、純粋のアメリカヒドリが減っていると考えられることから、要注目ランクからCランクに変更した。

保護上の留意点

ヒドリガモやオナガガモの群れが生息する水辺環境の保全が重要。